陳 情 文 書 表

受理番号	陳情 7 第 2 2 号	受理年月日	令和 7 年 6 月 6 日
件 名	統合新校が、統合前より更に、子どもの「人格の完成」に資する学校であるために、子どもたちへのアンケートや保健室やスクールカウンセラーなどへの聴き取りを実施して「困りごと」を発見し、どんな小さなことでも対策を講ずることを求める陳情		

【陳情の趣旨】

仮校舎で統合新校二校が開校しました。子どもたちの学校生活が、統合以前に増して、一人ひとりの「人格の完成」を目指して有効に営まれることを期待しています。それには、一人ひとりの子ども全員の学校生活の「快適性」が必要不可欠です。仮校舎期間も、「快適性」担保のための最大限の措置が講じられることを期待するものです。そのために、子どもが、今、「快適なのか」を聴き取ってください。

「だいじょうぶ」は子どもの常套句です。「だいじょうぶではない自分」「がんばれない自分」を人に知られたくないからです。知らず知らずのうちに不便や不都合に慣らされてしまって「だいじょうぶ」になってしまっている場合もあります。不満や不都合を内面化し、「気づかないことにして」なんとか生きて行く子が少なからずいることに大人は気づかなければなりません。慌ただしく、通学路を通り過ぎて行く子の姿を見かけると心配が募ります。そのことを踏まえて、子どもの思いを聴いてください。

不登校の子たちはどうしているのでしょうか。この子たちからも思っていることを聴き取ってください。

「言っていないんだよ」の機会があれば、一人でも二人でも、重い口を開く子がいるかもしれません。

統合新校は仮校舎期間が長く続きます。子どもにとっては唯一無二の中学時代を、安全で豊かに送れるよう、当事者である子どもの声を直接聴くことは、大きな意義のあることです。また、子どもの何気ない呟きや身体症状を受け止めている保健室やスクールカウンセラーからの聴き取りも試みてください。通学途中にある「居場所」が情報を持っている場合もあります。そして、それらの声を深く読み開いてください。

統合が「やって良かったもの」であるためには不断の検証が必要ですが、まず、初めての夏休みの前に調査をして、必要に応じて対策を講じ、目黒区が困っている子に寄り添う姿勢を目に見える形で示してください。

この調査は、教員の負担にならないように実行し、生徒のプライバシーが守られる配慮も必須です。

以下に、聞き取り項目の例を示しますが、更に工夫してくださることを期待しています。また、新校舎の建設についても、第一期生である子どもたちの意見を聴き取ることが、新校の歴史を立ち上げる上で大切なことだと思います。

【聞き取りの例】

- 1 楽しく通学していますか

通学にかかる時間

登校〇〇分 下校〇〇分 登校していない

通学方法（当てはまるものに○をつけてください。いろいろな方法を使う人はいくつ選んでもいいです）

徒歩のみ 目黒区の車 電車・バスと徒歩 親の送迎

その他（ ）

通学路・通学方法について、どんな小さなことでも、感じていることを書いてください

例：楽しい 電車が面白い 痴漢にあった 荷物が重い 暑さが心配
雨の日が困る

- 2 45分授業は適切ですか（適切 短い どちらでもない わからない）
3 （2、3年生のみ）部活や行事が統合以前と比べ、よくなったこと・困っていることを知らせてください
4 新校の校則・校章・校歌・標準服をどう思いますか？思っていることを知らせてください
5 仮校舎の設備で改善してほしいことを知らせてください
教室の大きさや明るさは十分ですか
ロッカーは便利ですか
手洗い場やトイレは快適ですか
その他何でも
6 新校舎がどんなふうになればいいと思いますか、望むことを知らせてください

以上、【例】の通りでなくても、子どもにわかりやすい発問の仕方で実施してください。

以下の陳情をいたします。

【陳情事項】

統合新校が、統合前より更に、子どもの「人格の完成」に資する学校であるために、子どもたちへのアンケートや保健室やスクールカウンセラーへの聴き取りなどを実施して「困りごと」を発見し、どんな小さなことでも対策を講ずることを求めます。